

県営住宅串本団地

津波避難ビルの機能を有する県営住宅

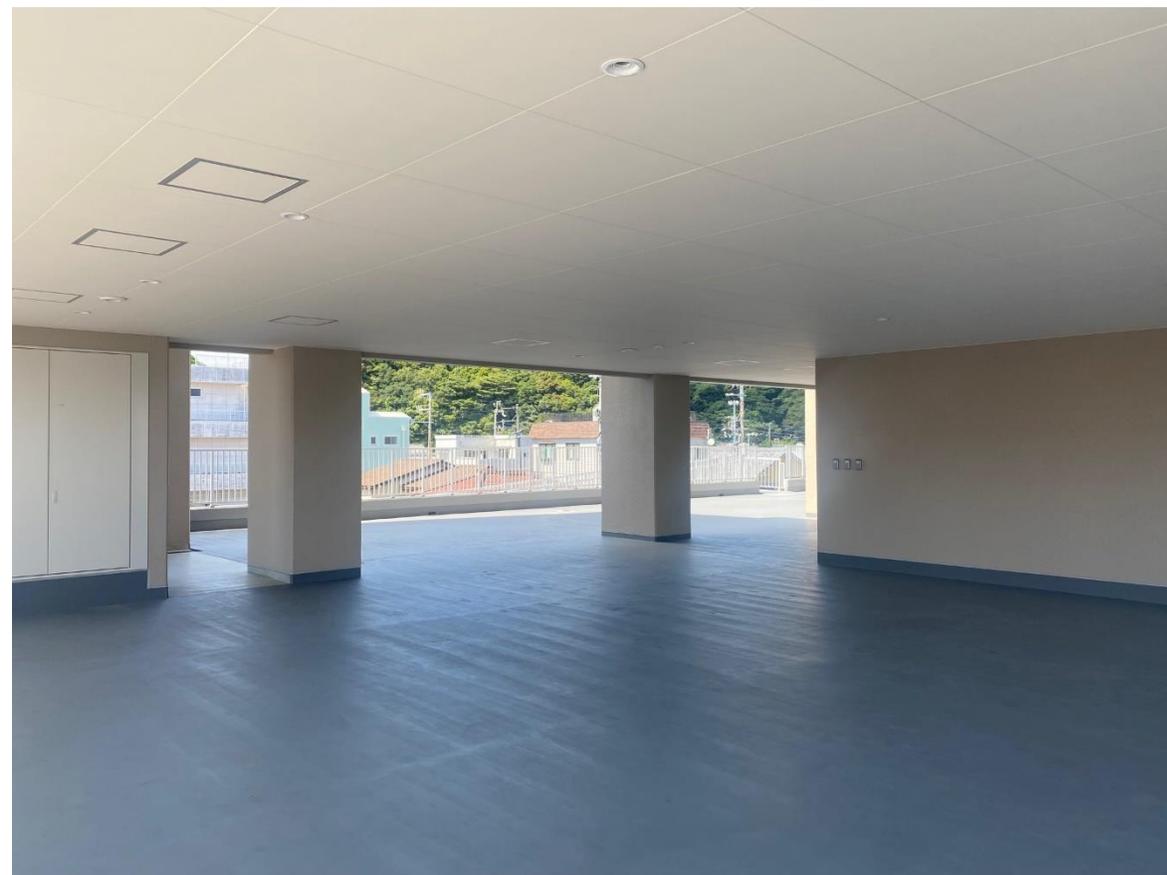
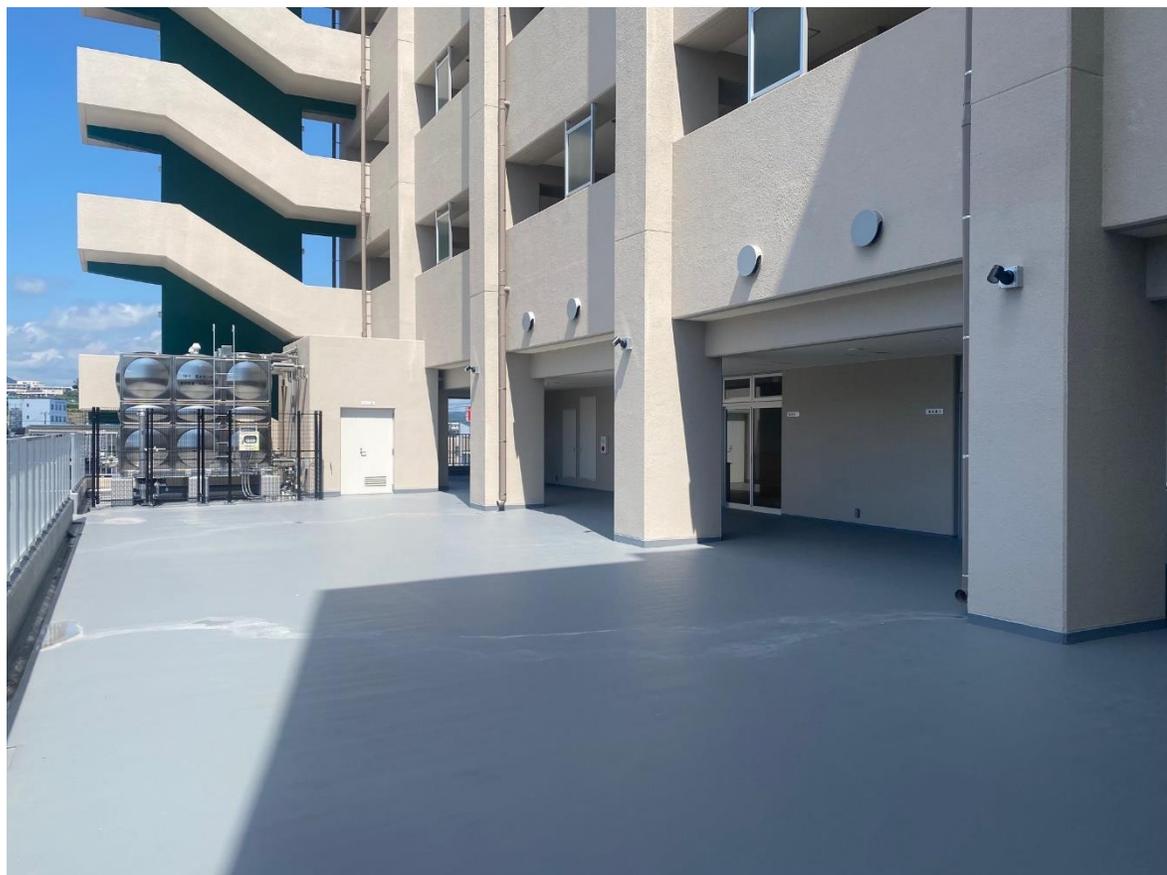
建築 場所	和歌山県東牟婁郡串本町串本
建物 概要	構造形式:鉄筋コンクリート造 階 数:地上7階 延べ面積:約3,349.5㎡ 基 礎:場所打ちコンクリート杭、PHC杭
竣工 年月	令和6年5月
事業 者	和歌山県
設 計 者	株式会社 岡本設計
監 理 者	株式会社バウ建築企画設計事務所
施 工 者	建 築 工 事:株式会社 夏山組、谷地建設 株式会社 株式会社 湯川建築 電気設備工事:有限会社 紀州エンジニアリング 機械設備工事:株式会社 ナカシゲ

県営住宅串本団地

設計主旨 本敷地は、津波避難困難地域内にあり、避難機能を有する県営住宅を建設することにより、入居者及び建物から一定範囲内の人にも津波から安全に避難でき、平時においては地域住民の憩いの場となることを目的とし、整備を行った。

- 補足事項
- ・津波の浸水に備え、基準位置(GL+6.8m)以上の部分（4階から7階）に居室を配置
 - ・車路からスロープ、階段4か所の計5か所による避難経路を確保
 - ・1階はイベントスペースとバス停、2階は入居者用駐車場、3階に災害時の屋内避難場所となる集会所、防災広場を設置
 - ・集会所、防災広場、屋上及び住戸前廊下を合わせて、約1,200人の一時避難が可能。
 - ・避難経路の照明や集会所の必要最小限の設備に電源供給するため、自家発電設備を設置。

3階防災広場



外観（南東側）



外観（北東側）



3階集会所



外観イメージパース（南西面）

